

マルチ・オーディオ・レコーダー／プレーヤー

エム・エー

商品型番：**MA-811**



この度は「マルチ・オーディオ・レコーダー／プレーヤー | MA-811」を
お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をお読み下さい。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を記載しています。ご使用の際にはこの説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

●目次	2	●SD/USBメディアプレーヤー	
●セット内容	2	■SD/USBメディアの挿入	15
●安全上のご注意	3	■SD/SDHCカードを再生する	15
●使用上のご注意	4	■USBメモリを再生する	16
●各部の名称	5~7	■フォルダ検索	16
●ご使用前の準備	8	■リピート再生	16
●レコード・プレーヤー		■プログラム再生	17
■ご使用の前に	9	●音声入力	
■レコードを再生する	9	■外部機器の音声を聴く	18
■45回転アダプタについて	10	●音声出力	18
■レコード針について	10	●録音をする	
●CDプレーヤー		■CD-R/RWへ録音する	19~21
■CDを再生する	11	■SD/USBへ録音する	
■リピート再生	12	【CD】を録音する	22, 23
■プログラム再生	12	【レコード】【カセットテープ】【ラジオ】	
●AM/FMラジオ		【音声入力】を録音する	23
■ラジオを聴く	13	SD/USBに録音したファイルを消去する	24
●カセットテープ		■カセットテープへ録音する	25
■カセットテープを再生する	14	■カセットテープを高速ダビングする	25
		●故障かな?と思ったら	26
		●主な仕様	27
		●保証とアフターサービス	28


セット内容


※箱を開けたら以下のセット内容を必ず確認してください。

- MA-811 本体
- リモートコントローラー
- ACアダプタ
- 45回転レコード用アダプタ ※本体上面レコードプレーヤー部に収納してあります。
- 交換用レコード針 × 1 ※取扱説明書の袋に同梱してあります。
- AMラジオ用ループアンテナ
- 取扱説明書(本誌)


安全上のご注意


※電気製品は、正しく取り扱うことで安全にお使いいただけます。ご使用前に次の注意事項をよくお読みになり、必ずお守りください。※注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、「警告」と「注意」に区分しています。


 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。


 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。


警告


 ●100V以外禁止
交流100V以外の電圧では使用しないでください。自動車、船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・故障の原因となります。


 ●電源コードをコンセントから抜く
雷が近づいたら、電源プラグをコンセントを抜いてください。


 ●電源コードを傷つけない
破損し、火災・感電の原因となります。


 ●分解禁止
この機器を開けたり、改造しないでください。火災・故障の原因となります。

 ●禁止
CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まないでください。レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。




 ●水ぬれ禁止
近くに水の入った花瓶などを置かないようにし、水がかかるような場所では使わないでください。水などが中に入った場合、火災・感電の原因となります。


 ●禁止
内部に小さな金属類(ヘアピンなど)や燃えやすいものをいれないでください。火災・感電の原因となります。

 ●ぬれ手禁止
ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。

 ●本体の通風孔をふさがない
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となる場合があります。


【記号の意味】


-  の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
-  の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。
-  の記号は「しなければならない行為」を示します。

 ●点検・修理
万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください(有料)。そのまま使用すると火災等の原因となります。


注意


 ●ぐらついた台や傾いた所に置かない
落下し、ケガ・故障の原因となります。

 ●温度の異常に高い場所で使用しない
通風孔をふさぐと内部温度が上昇し、火災・故障の原因になることがあります。

 ●調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災・感電・故障の原因になることがあります。

 ●駐車中の自動車内など、高温になる場所で保管しない
樹脂部品の変形の原因となります。

 ●電源コードをコンセントから抜く
長期間ご使用にならない場合、安全と節電のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

 ●電源を切る前には音量を下げる
再度電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となります。

●使用上のご注意

本機の取扱いについて

- 極端な湿度、日差しが強い場所には放置しないでください。
- 窓を閉めきった自動車内での放置はしないでください。

電源について

本機は無操作・無動作の状態が約8～10分続いた場合、自動的に電源が切れ、スタンバイモードになる様に設計されています。これは故障ではありませんので、ご安心ください。

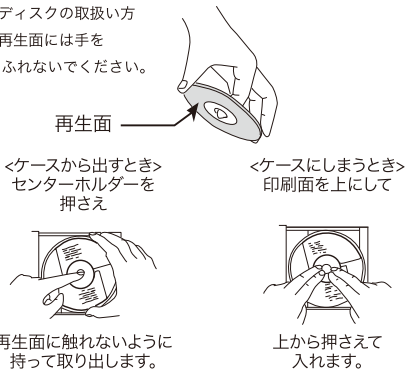
結露について

本機は冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ(結露)、本機の性能が発揮できなくなることがあります。このような場合は、1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

ディスク取扱い上のご注意

●ディスクの取扱い方

- ・再生面には手をふれないでください。



●ディスクの保管の仕方

- ・直射日光の当たる場所や、温度の高い場所、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ・ディスクは必ずケースに入れて保管してください。
- 本機を持ち運ぶときは
- ・ディスクを必ず取出してください。
- 入れたまま持ち運ぶと、ディスクに傷をつけたり、故障の原因になります。

ディスク使用上の注意

- シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用クリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください、ディスクを痛める原因となります。
- 再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

- ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。



ハート形や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないでください。故障の原因となります。



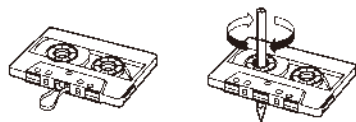
- 再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから、絶対に使用しないでください。

- CD-R/CD-RW に記録されたディスクの再生は、記録状態により再生できない場合があります。

- コピーガード付きのディスクは、再生できない場合があります。

カセットテープの取扱いについて

- 再生中に音が鈍くなった時は、まれに廢物や異物がテープに付着している場合があります。その場合は、ヘッドクリーニングのご使用をおすすめします。その際、摩擦を起こす恐れがありますので使いすぎにはご注意ください。
- 先のがつたもので付着物をはがそうとしないでください。
- テープがたるんでいると絡まり、テープにダメージを与える場合があります。下図のように鉛筆などで直してからご使用ください。



- 古いテープは絡まりやすく、テープにダメージを与えますので使用しないでください。

- テープの巻きつきがきつくと感じるときは、テープの窓の線が詰まっているように見えます。そのときは、一度テープを早送り、巻戻ししてください。

- 温度や湿度が高い所や、ほこりが多い場所には長時間放置しないでください。

- 60分以上の長時間テープはご使用ならないでください。長時間テープは薄く伸びやすいため、テープが巻き込まれる場合があります。

- TYPE1 (ノーマル) テープをお使いください。クローム/ハイポジション、メタルテープは使用できません。

<大切な録音を守る-誤消去防止>

ツメを折ると録音ができなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスを防ぎます。

穴をゼロハンテープなどでふさげば、再び録音ができます。

●各部の名称

【本体前面】

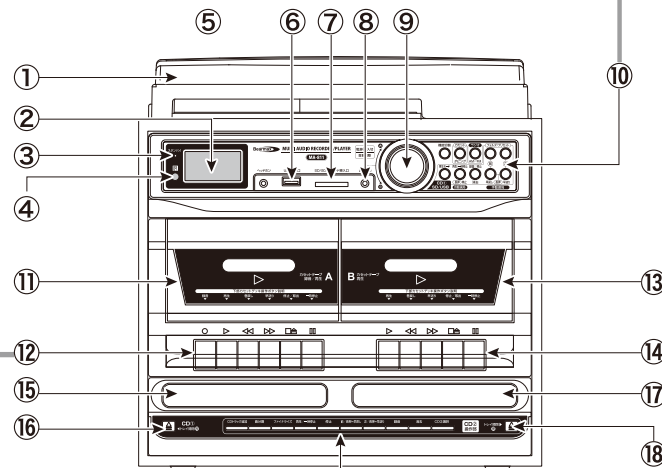
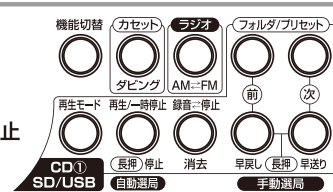
- ①トップカバー ②液晶表示部 ③電源インジケータ ④リモコン受光部 ⑤ヘッドホン端子
- ⑥USB 挿入口 ⑦SD/SDHC カード挿入口 ⑧音声入力端子 ⑨電源入切/音量調整ツマミ
- ⑩操作ボタン部 ⑪カセットデッキ A ⑫カセットデッキ A 操作部 ⑬カセットデッキ B
- ⑭カセットデッキ B 操作部 ⑮CD①トレイ ⑯CD①トレイ開閉ボタン ⑰CD②トレイ
- ⑱CD②トレイ開閉ボタン ⑲CD②操作部

【上段左から】 ⑩-①機能切替 ⑩-②ダビング

⑩-③ラジオ ⑩-④前 ⑩-⑤次

【下段左から】 ⑩-⑥再生モード ⑩-⑦再生/一時停止

⑩-⑧録音⇄停止 ⑩-⑨前 ⑩-⑩次



【左から】 ⑫-①録音 ⑫-②再生
⑫-③巻戻し ⑫-④早送り
⑫-⑤停止/取出し ⑫-⑥一時停止

【左から】 ⑭-①再生 ⑭-②巻戻し
⑭-③早送り ⑭-④停止/取出し
⑭-⑤一時停止



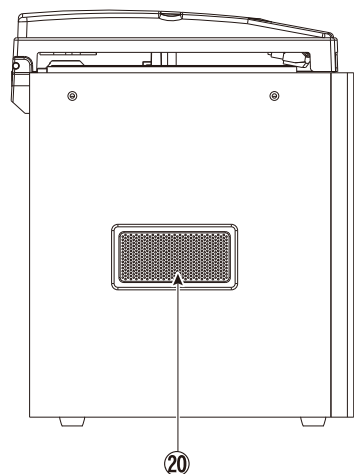
【左から】

⑲-①CDトラック追加 ⑲-②曲分割 ⑲-③ファイナライズ ⑲-④再生/一時停止
⑲-⑤停止 ⑲-⑥前/長押=早戻し ⑲-⑦次/長押=早送り ⑲-⑧録音 ⑲-⑨消去
⑲-⑩CD②選択

各部の名称

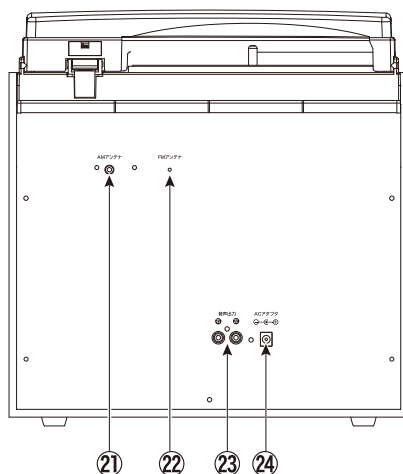
【本体側面】

⑳スピーカー



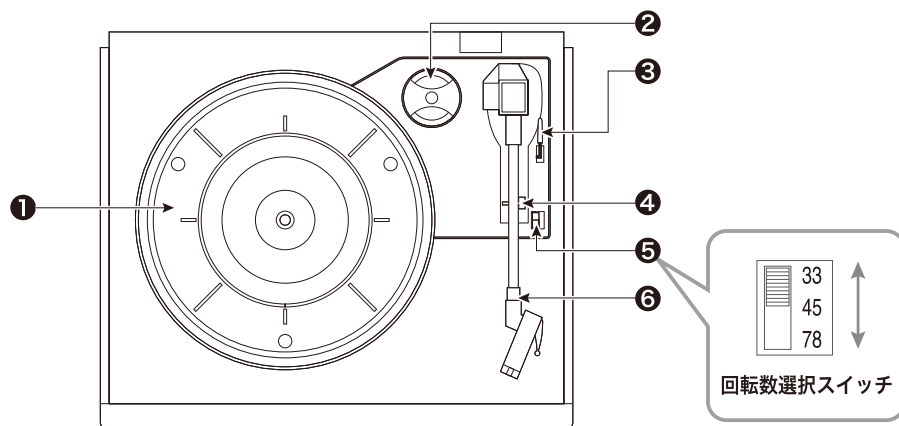
【本体背面】

㉑AM アンテナ差込口 ㉒FM アンテナ
㉓音声出力 ㉔AC アダプタ差込口



【レコードプレーヤー】

①ターンテーブル ②45回転用アダプタ ③リフトレバー ④アームレスト
⑤回転数選択スイッチ ⑥アーム



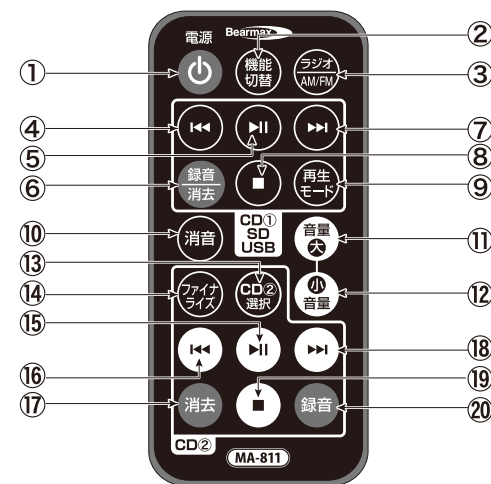
【リモートコントローラー】

①電源入切 ②機能切替 ③ラジオ AM/FM

【CD①/SD/USB】④前(長押し:早戻し) ⑤再生/一時停止 ⑥録音/消去 ⑦次(長押し:早送り)
⑧停止 ⑨再生モード

⑩消音 ⑪音量:大 ⑫音量:小

【CD②】⑬CD②選択 ⑭ファイナライズ ⑮再生/一時停止 ⑯前スキップ ⑰消去
⑱次スキップ ⑲停止 ⑳録音



■電池の交換方法

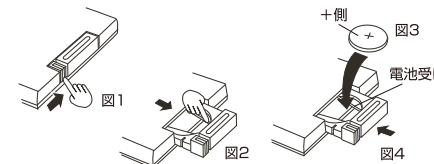
①リモコンの裏面にあるタブを矢印の方向に引きながら、電池受けを引き出します。(図1/2)

②ボタン電池「CR2025」を、+プラス側を上にして電池受けに入れます。(図3)

③電池受けを元に戻します。(図4)

【電池について】

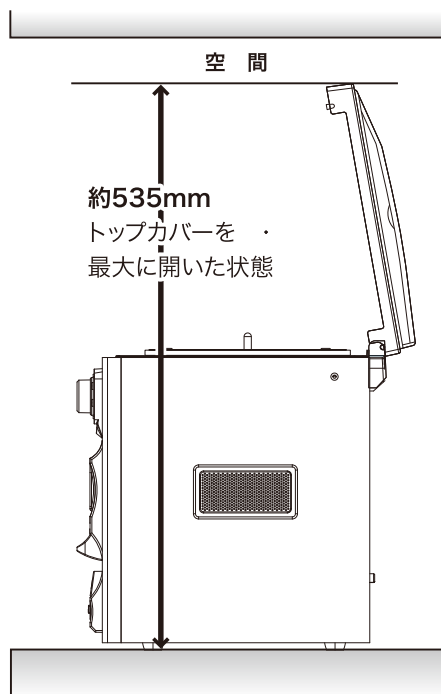
本製品のリモコンで使用する電池の型番は「CR2025」です。お求めの際は型番をお間違えない様ご注意ください。



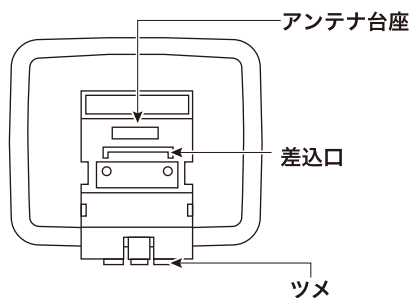
●ご使用前の準備

■設置する

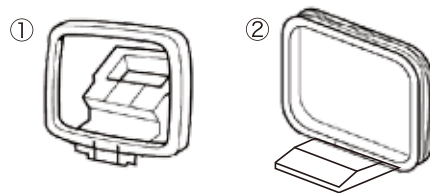
- 1 本体を箱から取出し、硬く平らな場所に置きます。
①**トップカバー**がきちんと開くように設置場所の上部も十分に空間を取ってください。
- 2 本体背面の**④ACアダプタ差込口**に**ACアダプタ**の端子を挿し込みます。
- 3 **ACアダプタ**のプラグをコンセントに挿し込みます。
- 4 **②液晶表示部**がうっすら青く、**③電源インジケータ**が赤く点灯します。
- 5 本体背面の**①AMアンテナ差込口**に**AMラジオ用ループアンテナ**を挿し込みます。
- 6 本体前面**⑨電源入切/音量調整ノブ**を押し、電源を入れます。
③電源インジケータが消灯し、**②液晶表示部**が青く点灯します。



●AMラジオ用ループアンテナについて



●組み立て方



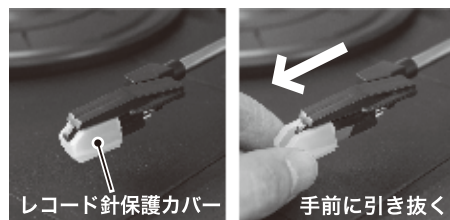
台座部分を折り線に沿って倒す様に折り曲げ、ツメを差込口に差込みます。

●レコード・プレーヤー

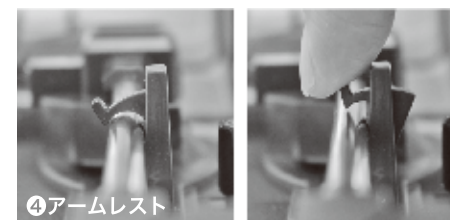
■ご使用の前に

- 1 ①**トップカバー**を開けます。
- 2 **⑥アーム**先端のカートリッジに付いている**レコード針保護カバー**を外します。
- 3 **①ターンテーブル**にお聴きになりたいレコードを置きます。
- 4 **④アームレスト**の固定用のツメを外側に押し、**⑥アーム**のロックを解除します。

●レコード針保護カバーを外す



●アームのロック解除



■レコードを再生する

- 1 **⑩-①機能切替ボタン**を押し、“PHON”を選びます。
※**②液晶表示部**に“PHON”と表示されている事をご確認ください。
- 2 再生するレコードに合わせ、**⑤回転数選択スイッチ**で回転数を選びます。
- 3 **③リフトレバー**を奥側に倒すと、**⑥アーム**が上がります。
- 4 カートリッジのツマミを持ち、**⑥アーム**をターンテーブル側に動かします。
- 5 **⑥アーム**を任意の位置で合わせ、**③リフトレバー**を前側に倒すと、針がレコード盤の上に降り、レコードが再生します。
- 6 **⑨音量調整ツマミ**を回し、ご希望の音量に調整します。
- 7 再生を終了する場合は、**③リフトレバー**を奥側に倒してアームを上げます。
- 8 **⑥アーム**を**④アームレスト**に戻し、**③リフトレバー**を前側に倒します。

●レコード・プレーヤー

■45回転アダプタについて

ドーナツ盤等、真ん中の穴の大きなシングル・レコードを再生する場合は、付属の②45回転用アダプタを使用してください。



■レコード針について

○針のお手入れ

柔らかいブラシ、筆などで針先に付いたホコリやゴミを取り除いてください。指先で行うと針先を破損する原因となります。

○針の交換

レコード針は長時間の使用により摩耗します。その様な状態で再生すると、針飛び等が起こりレコード盤を傷付ける等の問題が発生する場合がございます。本製品の場合、約200時間を目安に針を交換してください。

※使用条件によってはこれよりも短くなります。

針の抜き方



針ホルダを持って、赤いカートリッジを矢印の方向へ下げます。



前方へ引き抜きます。

針の入れ方



矢印の部位を合わせるように、斜め下からカートリッジを入れます。



クリック感のあるところまで上に引き上げます。



※ご使用の前に必ず再生するレコード盤の回転数をお確かめください。
※レコード盤のゆがみにより音飛び等、上手く再生しない場合があります。

●CDプレーヤー

■CDを再生する

- ⑩-①機能切替ボタンを数回押し、“[]”を選びます。
※②液晶表示部に“[]”と表示されている事をご確認ください。
- ②液晶表示部に“[]”と表示された後、“N”と表示されます。
- ⑩CD①トレイ開閉ボタンを押して⑩CD①トレイを開けます。
※②液晶表示部に“OPEN”と表示されます。
- お手持ちのCDを⑩CD①トレイに置き、⑩CD①トレイ開閉ボタンを押して⑩CD①トレイを閉じます。
※②液晶表示部に“[]”と表示されます。
- CDを読み込み、自動的に再生します。
※再生が始まるまで、②液晶表示部には下記の順番で表示されます。
※“[]”点滅（読み込み中）▶収録曲数（10曲入のCDの場合は“0 10”）
▶再生する曲の収録番号（1曲目の場合は“00 1”）▶経過時間（“00:0 1”～）
- ⑨音量調整ツマミを回し、ご希望の音量に調整します。
- 再生を停止する時は、⑩-⑦再生/一時停止ボタンを長押しします。

●曲のスキップ

再生中に次の曲を聴きたい時は⑩-⑩次ボタンを押します。1回押すと1曲進みます。
再生中に前の曲を聴きたい時は⑩-⑨前ボタンを押します。1回押すと1曲戻ります。

●早送りと早戻し

再生中の曲を進めたい時は⑩-⑩次ボタンを長押しします。ボタンから指を離すと通常再生します。

再生中の曲を戻したい時は⑩-⑨前ボタンを長押しします。ボタンから指を離すと通常再生します。

●一時停止

再生中、一時的に曲を停止したい場合は、⑩-⑦再生/一時停止ボタンを押します。もう一度押すと止めた所から再生します。

●CDプレーヤー

■リピート再生

本製品は CD 収録されている特定の曲を繰り返し再生する事が出来ます。

- 1 前項「■CDを再生する」の手順に従い、再生したいCDを挿入します。
- 2 再生中に⑩-⑥再生モードボタンを押します。
※1回押すと再生中の曲を繰り返し再生し、もう1回押すと保存されている全ての曲を繰り返し再生します。

■プログラム再生

本製品は CD の曲をお好みの順番に記憶させて、再生する事が出来ます。オーディオ形式の場合最大 20 曲、MP3 形式の場合最大 64 曲まで、記憶する事ができます。

- 1 前項「■CDを再生する」の手順に従い、CDを挿入します。
- 2 CDを読み込み、自動的に再生しますので、⑩-⑦再生/一時停止ボタンを長押しして再生を停止します。
- 3 ⑩-⑥再生モードボタンを押します。
※②液晶表示部に“MEM”と“P□ 1”が点滅表示されます。
- 4 ⑩-⑩次ボタンを押すたびに、“□□ 1...□□2...”と表示されますので、設定したい曲を選びます。
- 5 ⑩-⑥再生モードボタンを押し、1曲目のプログラムを完了させます。
- 6 ②液晶表示部に“MEM”と“P□2”と点滅表示されますので、2曲目のプログラムを上記の手順に従い選びます。 ※以下同手順
- 7 設定が終わったら、⑩-⑦再生/一時停止ボタンを押して、プログラム再生を開始します。
※プログラム再生中は②液晶表示部に“MEM”が点灯しています。
- 8 ⑩-⑦再生/一時停止ボタンを長押しするとプログラム再生が終了し、②液晶表示部の“MEM”は非表示になります。

※CDトレイを開けると、記憶されたプログラムは消去されます。

●AM/FMラジオ

■ラジオを聴く

【自動選局】

- 1 ⑩-③ラジオボタンを押すと、②液晶表示部に“TUNING”と表示されます。
- 2 ⑩-③ラジオボタンでAMとFMを切替えお好みのバンドに合わせます。
- 3 ⑩-⑦再生/一時停止ボタンを押します。
- 4 ラジオ局が検出されると自動的にプリセット番号1から本体に記憶されます。
- 5 ⑩-⑩次ボタンもしくは⑩-⑨前ボタンいずれかを押し、お聴きになりたいラジオ局を選びます。

【手動選局】

- 1 ⑩-③ラジオボタンを押すと、②液晶表示部に“TUNING”と表示されます。
- 2 ⑩-③ラジオボタンでAMとFMを切替えお好みのバンドに合わせます。
- 3 ⑩-⑩次ボタンもしくは⑩-⑨前ボタンいずれかを1-2秒押し、離します。
- 4 ラジオ局が検出されると自動的に停止し、受信します。
- 5 ご希望の局の周波数が合うまで、③、④の手順を繰り返します。

【ラジオ局のプリセット】

- 1 【手動選局】の手順に従い、お好みのラジオ局を選びます。
- 2 ⑩-⑥再生モードボタンを押します。
※②液晶表示部に“MEM”と“P□ 1”が表示されます。“□ 1”の部分が点滅します。
- 3 ⑩-⑥再生モードボタンを押し、1局目のプログラムを完了させます。
- 4 ②液晶表示部に“MEM”と“P□2”が表示されます。“□2”の部分が点滅しますので2局目のプログラムを上記の手順に従い選びます。 ※以下同手順
- 5 フォルダ/プリセットの⑩-④前ボタンもしくは⑩-⑤次ボタンいずれかを押し、記憶されたラジオ局を選びます。

AM：背面に接続したループアンテナで受信します。受信状態が悪い場合はループアンテナの角度や設置場所を変えると改善される場合があります。

FM：本体背面から伸びているワイヤーアンテナで受信します。受信状態が悪い場合はワイヤーアンテナの角度や方向を変えると、改善される場合があります。

●カセットテープ

■カセットテープを再生する

※本項では再生専用の「⑬カセットデッキB」での操作を記しています。

「⑪カセットデッキA」で操作する場合は各操作ボタンの番号を置き換えてください。

「⑪カセットデッキA」と「⑬カセットデッキB」の違いは録音ボタンの有無です。

- ⑩-①機能切替ボタンを数回押し、“TAPE”を選びます。
※②液晶表示部に“TAPE”と表示されている事をご確認ください。
- ⑭カセットテープ操作部の⑭-④停止/取出しボタンを押し、⑬カセットデッキのドアを開けます。
- お手持ちの音声の収録されているカセットテープを挿入します。
※カセットテープのテープ露出面を下にして挿入して下さい。(下図)
- ⑭-①再生ボタンを押し再生します。
- ⑨音量調整ツマミを回し、ご希望の音量に調整します。
- 再生を終了する場合は、⑭-④停止/取出しボタンを押しします。
※テープを最後まで巻き取ると自動的に停止します。
- ⑭-④停止/取出しボタンを押し、⑬カセットデッキのドアを開け、テープを取出します。

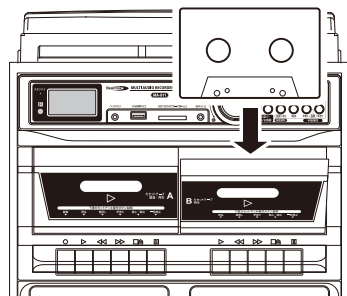
●巻戻しと早送り

⑭-②巻戻しボタンと⑭-③早送りボタンを使って、お好みの場所から再生出来ます。再生したい所までテープを巻き終えたら、⑭-④停止/取出しボタンを押し、巻戻し/早送りを解除します。

●一時停止

再生中、一時的に停止したい場合は、⑭-⑤一時停止ボタンを押しします。もう一度押すと止めた所から再生します。

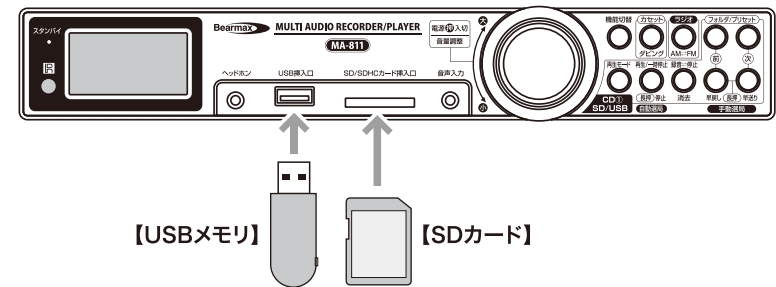
※挿入時はテープ露出面を下に



※本機はノーマルテープ専用です。
ハイポジション、メタルポジション等のテープは使用できませんので、予めご確認ください。
また、両面合わせて60分以内のテープを推奨しています。

●SD/USBメディアプレーヤー

■SD/USBメディアの挿入



- ※メディア挿入時は必ず挿入方向をお確かめの上、挿入してください。
誤った方向に挿入すると、メディアが抜けなくなったり、本体及びメディアが破損する場合がございます。
- ※microSD、miniSDカードをご使用の場合は、必ずSDカードアダプター(別売)に入れてから挿入してください。そのまま挿入されますと取出せません。

■SD/SDHCカードを再生する

- ⑩-①機能切替ボタンを数回押し、“[ARR]”を選びます。
※②液晶表示部に“[ARR]”と表示されている事をご確認ください。
- ②液晶表示部に“[ARR]”と表示された後、“N0”と表示されます。
- ⑦SD/SDHCカード挿入口に音声ファイル保存済みのSDもしくはSDHCカードを挿し込みます。
- SDもしくはSDHCカードを読み込み、自動的に再生します。
※再生が始まるまで、②液晶表示部には下記の順番で表示されます。
※“[ARR]”点滅(読み込み中) ▶ 収録曲数(10曲入のCDの場合は“010”)
▶ 再生する曲の収録番号(1曲目の場合は“001”) ▶ 経過時間(“00:01”~)
- ⑨音量調整ツマミを回し、ご希望の音量に調整します。
- 再生を停止する時は、⑩-⑦再生/一時停止ボタンを長押しします。

■USBメモリを再生する

- ⑩-①機能切替ボタンを数回押し、“**U**”を選びます。
※②液晶表示部に“**U**”と表示されている事をご確認ください。
- ②液晶表示部に“**U**”と表示された後、“**N**”と表示されます。
- ⑥USB挿入口に音声ファイル保存済みのUSBメモリを挿し込みます。
- USBメモリを読み込み、自動的に再生します。
※再生が始まるまで、②液晶表示部には下記の順番で表示されます。
※“**U**”点滅（読み込み中）▶収録曲数（10曲入のCDの場合は“**0 1**”）
▶再生する曲の収録番号（1曲目の場合は“**00 1**”）▶経過時間（“**00:0 1**”～）
- ⑨音量調整ツマミを回し、ご希望の音量に調整します。
- 再生を停止する時は、⑩-⑦再生/一時停止ボタンを長押しします。

■フォルダ検索

SDカード/USBメモリ内のファイルが複数のフォルダに分かれて保存されている場合、フォルダを検索して、再生したい音楽ファイルを選ぶ事が出来ます。

- ファイルの再生中/停止中に⑩-⑩次ボタンを押すと、②液晶表示部に“**F 00 1**”と表示されます。
- ⑩-⑩次ボタンを押すたびに、“**F 00 2...F 00 3...**”と表示されますので、お目当てのフォルダを検索します。
- 再生したいフォルダが見つかったら、⑩-⑦再生/一時停止ボタンを押すと再生が始まります。

■リピート再生

本製品はSDカード/USBメモリに保存されている音楽ファイルを繰り返し再生する事が出来ます。

- 前項「**■SD/SDHCを再生する**」「**■USBメモリを再生する**」の手順に従い再生の準備をします。
- 再生中に⑩-⑥再生モードボタンを押します。
※1回押すと再生中の曲を繰り返し再生し、もう1回押すと保存されている全ての曲を繰り返し再生します。

■プログラム再生

本製品はSDカード/USBメモリに保存されている音楽ファイルをお好みの順番に記憶させて、再生する事が出来ます。

- 前項「**■SD/SDHCを再生する**」「**■USBメモリを再生する**」の手順に従い再生の準備をします。
- 自動的に再生しますので、⑩-⑦再生/一時停止ボタンを長押しして停止します。
- ⑩-⑥再生モードボタンを押します。
※②液晶表示部に“**MEM**”と“**P 0 1**”が点滅表示されます。
- ⑩-⑩次ボタンを押すたびに、“**00 1...00 2...**”と表示されますので、設定したい曲を選びます。
- ⑩-⑥再生モードボタンを押し、1曲目のプログラムを完了させます。
- ②液晶表示部に“**MEM**”と“**P 0 2**”と点滅表示されますので、2曲目のプログラムを上記の手順に従い選びます。 ※以下同手順
- 設定が終わったら、⑩-⑦再生/一時停止ボタンを押して、プログラム再生を開始します。
※プログラム再生中は②液晶表示部に“**MEM**”が点灯しています。
- ⑩-⑦再生/一時停止ボタンを長押しするとプログラム再生が終了し、②液晶表示部の“**MEM**”は非表示になります。

●曲のスキップ

再生中に次の曲を聴きたい時は⑩-⑩次ボタンを押します。1回押すと1曲進みます。再生中に前の曲を聴きたい時は⑩-⑨前ボタンを押します。1回押すと1曲戻ります。

●早送りと早戻し

再生中の曲を進めたい時は⑩-⑩次ボタンを長押しします。ボタンから指を離すと通常再生します。

再生中の曲を戻したい時は⑩-⑨前ボタンを長押しします。ボタンから指を離すと通常再生します。

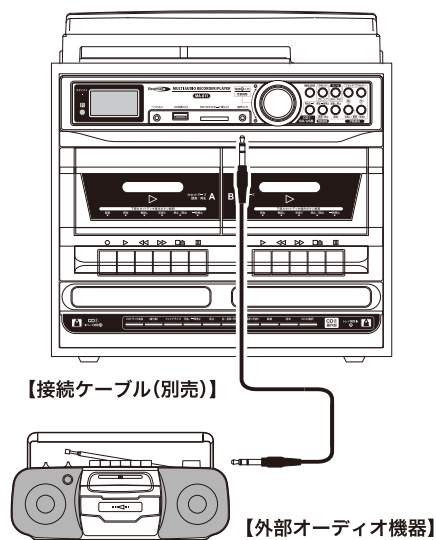
●一時停止

再生中、一時的に曲を停止したい場合は、⑩-⑦再生/一時停止ボタンを押します。もう一度押すと止めた所から再生します。

●音声入力

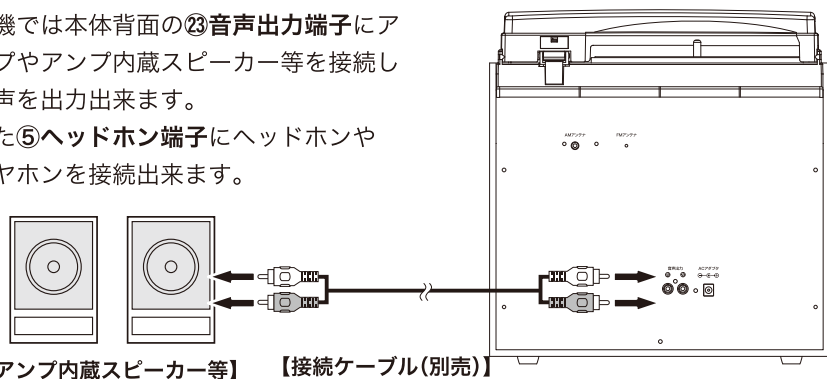
■外部機器の音声を聴く

- ⑧音声入力端子とお手持ちの外部オーディオ機器を接続します。
- ⑩-①機能切替ボタンを数回押し、“AUX”を選びます。
※②液晶表示部に“AUX”と表示されている事をご確認ください。
- 外部機器を再生します。本機のスピーカーから音声が出力されます。
- ⑨音量調整ツマミを回し、ご希望の音量に調整します。
- 再生を停止する時は、外部機器を停止します。



●音声出力

本機では本体背面の⑬音声出力端子にアンプやアンプ内蔵スピーカー等を接続し音声を出力出来ます。
また⑤ヘッドホン端子にヘッドホンやイヤホンも接続出来ます。



- ※本機側端子の形式はRCAピン端子です。接続の際は別途ケーブルをお買い求めください。
- ※接続した機器と内蔵スピーカーの選択は出来ません。接続した機器からのみ音声をお聴きになりたい場合は、本機の音量を最小にしてください。
- ※音量の調整は接続した機器側で行ってください。

●録音をする

■CD-R/RWへ録音する



CD-R/CD-RWディスクについてのご注意

CD-Rは一度録音をするとやり直し（録音したデータの消去）が出来ません。録音のやり直しが必要になった時のために、CD-RWの使用をお奨めします。

●【レコード】【CD】【カセットテープ】【SD/USB】【音声入力】を録音する

- 録音したい各機能の手順に従い、音源を準備します。
- ⑱CD②トレイ開閉ボタンを押して⑱CD②トレイを開けます。
※②液晶表示部の下段に“OPEN”と表示されます。
- お手持ちのCD-R/RWディスクを⑱CD②トレイに置き、⑱CD②トレイ開閉ボタンを押して⑱CD②トレイを閉じます。
- ディスクを読み込み、②液晶表示部の左中段に小さく“CD-R”または“CD-RW”と表示されます。
- ⑲-⑧録音ボタンを押すと、録音状態になります。
※②液晶表示部の下段に曲数と経過時間(00 1st00:00)が表示されます。

【CD】【SD/USB】を録音する場合、自動的に再生が始まり、録音されます。

- 録音したい機能が【レコード】【カセットテープ】【音声入力】の場合は、それぞれの音源を再生します。 ※再生の仕方は各機能の項目を参照して下さい。
- 録音を終了する場合は、⑲-⑤停止ボタンを押します。②液晶表示部の下段に“---bU5y”と表示され、録音が終了します。その後各機能の初期画面（レコードの場合は“PHON”）と表示されます。

●録音した内容を確認する

- ⑲-⑩CD②ボタン押し、“[]-2”を選びます。②液晶表示部の上段に“[]-2”、下段に曲数と経過時間(00 1st00:00)が表示されます。
- ⑲-④再生/一時停止ボタンを押し、録音した音源を再生します。希望通りに録音されている事が確認出来れば完了です。



- ※録音速度は1:1の等倍速です。
- ※録音フォーマットは、CD-DA(オーディオCD形式)です。他の形式は選択出来ません。

●録音をする

●ファイナライズをする

※本機で録音した CD-R/RW ディスクを他の CD プレーヤーで再生出来る様にするには「ファイナライズ」処理が必要です。

- 1 ⑨-⑩CD②ボタン押し、“[]-②”を選びます。②液晶表示部の上段に“[]-②”、下段に曲数と経過時間 (00 TR00:00) が表示されます。
- 2 ⑨-③ファイナライズボタンを押すと、②液晶表示部の下段に“FIN-②”と表示され準備状態になります。
- 3 ⑨-④再生/一時停止ボタンを押すと、処理を開始します。
※②液晶表示部の下段に“---BUSY”と表示されます。
- 4 処理が終了すると⑩CD②トレイが自動的に開きます。

※ファイナライズ処理には2分~3分程度かかる場合がございます。

※ファイナライズ準備画面から元の画面に戻るには⑨-⑤停止ボタンを押してください。

●手動曲分割機能

- 1 録音中に任意の場所 (曲と曲の間等) で⑨-②曲分割ボタンを押すと“---BUSY”と表示され、録音が一旦停止します。
- 2 数秒後に再び録音状態になります。
- 3 続けて分割したい場合は、上記の手順を繰り返します。

※10秒以内の録音は分割出来ません。

●自動曲分割機能 ※レコードを録音する場合のみ有効

- 1 ⑨-①CDトラック追加ボタンを押すと②液晶表示部の上段に“R-T⑤”と表示されます。
- 2 レコードを再生します。
- 3 ⑨-⑧録音ボタンを押すと録音状態になります。
- 4 曲間等、無音部分を検知すると録音を中断し“---BUSY”と表示されます。
- 5 無音部分が終わると再度録音を開始します。

※レコードの無音部分の長さ、収録音量の大小によっては正確に検知出来ない場合があります。その際は手動で曲分割を行って下さい。

●CD-RW に録音したファイルを消去する

- 1 ⑨-⑩CD②ボタン押し、“[]-②”を選びます。②液晶表示部の上段に“[]-②”、下段に“00 ① 15[]”が表示されます。
- 2 ⑩CD②トレイ開閉ボタンを押して⑩CD②トレイを開けます。
※②液晶表示部の下段に“OPEN”と表示されます。
- 3 お手持ちのCD-R/RWディスクを⑩CD②トレイに置き、
⑩CD②トレイ開閉ボタンを押して⑩CD②トレイを閉じます。
- 4 ディスクを読み込み、②液晶表示部の左中段に小さく“CD-RW”、下段に保存された保存ファイル数と総時間 (3ファイル入 12分収録の場合 003TR 12:00) が表示されます。
- 5 ⑨-⑨消去ボタンを押すと、②液晶表示部の下段に“EH [] (最後の曲番号) ”、もう一度押すと“EH ALL”と表示されますので、消去したいモードを選びます。
- 6 ⑨-④再生/一時停止ボタンを押すと、②液晶表示部の下段に“---BUSY”と表示され、消去が始まります。
- 7 ファイルが消去されると、②液晶表示部の下段に“000TR00:00”と表示されます。

【消去モードについて】

消去したい項目に合わせて2つのモードから選択出来ます。
ファイルを消去する際は、必ずご希望にあったモードをお選びください。

消去モード 1. EH XX：保存された最後のファイルから1ファイルずつ消去します。
※消去したいファイルの選択は出来ません。

消去モード 2. “EH ALL”：ディスク内のすべてのデータを消去します。



注意

※ファイナライズされたディスクのファイルは消去出来ません。
ファイナライズされたディスクを消去しようとした場合、②液晶表示部の下段に“00F 10-②”と表示されます。

※一度消去したファイルは元に戻せません。

●録音をする

■SD/USB へ録音する

本機の【レコード】【CD】【カセットテープ】【ラジオ】【音声入力】各機能の音声をSD/USBに録音する事が出来ます。

ここではSD/SDHCカードに録音する手順を説明します。USBメモリに録音する場合は“SD/SDHCカード”の部分を“USBメモリ”に置き換えてください。

※【CD】とその他の機能は録音方法が異なります。

●【CD】を録音する

○1曲を選んで録音する

- 1 「■CDを再生する」の手順に従い、録音したいCDを挿入します。
- 2 CDを読み込み、自動的に再生しますので、⑩-⑦再生/一時停止ボタンを長押しして再生を停止します。
- 3 ⑩-⑩次ボタンを押して、録音したい曲を選びます。
- 4 ⑦SD/SDHCカード挿入口にSDもしくはSDHCカードを挿入します。
- 5 ⑩-⑧録音⇄停止ボタンを押すと、②液晶表示部に“REC.”→“ONE”の順に点滅表示されます。
- 6 再度⑩-⑧録音⇄停止ボタンを押すと②液晶表示部に“WFI.”が一瞬表示され“REC.”“SD”のアイコンが点滅し再生/録音が始まります。
※録音中は②液晶表示部に“REC.”→曲番号→経過時間が繰り返し表示されます。
- 7 曲が終わると自動的に録音を停止します。②液晶表示部に“END”と表示されます。

○アルバム全曲を録音する

- 1 「■CDを再生する」の手順に従い、録音したいCDを挿入します。
- 2 CDを読み込み、自動的に再生しますので、⑩-⑦再生/一時停止ボタンを長押しして再生を停止します。
- 3 ⑦SD/SDHCカード挿入口にSDもしくはSDHCカードを挿入します。
- 4 ⑩-⑧録音⇄停止ボタンを押すと、②液晶表示部に“REC.”→“ONE”の順に点滅表示されます。

●【CD】を録音する ～つづき～

- 5 ⑩-⑩次ボタンを押すと、②液晶表示部に“ALL.”と点滅表示されます。
- 6 再度⑩-⑧録音⇄停止ボタンを押すと②液晶表示部に“WFI.”が一瞬表示され“REC.”“SD”のアイコンが点滅し再生/録音が始まります。
※録音中は②液晶表示部に“REC.”→曲番号→経過時間が繰り返し表示されます。
- 7 曲が終わると自動的に録音を停止します。②液晶表示部に“END”と表示されます。

●【レコード】【カセットテープ】【ラジオ】【音声入力】を録音する

- 1 録音したい各機能の手順に従い、音源を準備します。
- 2 ⑦SD/SDHCカード挿入口にSDもしくはSDHCカードを挿入します。
- 3 ⑩-⑧録音⇄停止ボタンを押すと、②液晶表示部に“REC.”→“WFI.”→“REC.”の順で表示され、“SD”のアイコンが点滅し、録音状態になります。
- 4 録音したい各機能の音源を再生します。
※再生の仕方は各機能の項目を参照して下さい。
- 5 録音を終了する場合は、再度⑩-⑧録音⇄停止ボタンを押します。②液晶表示部に“END”と表示され、録音が終了します。その後各機能の初期画面（レコードの場合は“PHONE”）と表示されます。



注意

※AMラジオは録音時にノイズが乗りやすい為、推奨致しません。

※録音速度は1:1の等倍速です。

※録音フォーマットは、MP3(128kbps)に設定されています。他の形式は選択出来ません。

※FMまたはAMラジオの録音中は受信周波数の調整は出来ません。

※SD/USBが認識されない場合、お手持ちのパソコン等で認識されるかご確認ください。

●録音をする

●SD/USB に録音したファイルを消去する

- ⑦SD/SDHCカード挿入口に音声ファイル保存済みのSDもしくはSDHCカードを挿し込みます。
- ⑩-①機能切替ボタンを数回押し、“[RR]”を選びます。
- ②液晶表示部に“[RR]”と表示された後、収録ファイル数（10ファイル入の場合は“0 10”）が表示されます。
- SDもしくはSDHCカードを読み込み、自動的に再生が始まりますので、⑩-⑦再生/一時停止ボタンを長押しし、再生を停止します。
- ⑩-⑧録音⇄停止ボタンを長押しします。
- ②液晶表示部に“[EL]”→“[NE]”と点滅表示されます。
⑩-⑩次ボタンを押すと“[IR]”、もう一度押すと“[LL]”と点滅表示されますので、消去したいモードを選び、⑩-⑧録音⇄停止ボタンを押すと削除されます。
- ファイルが削除されると、SDカードモードに戻ります。

【消去モードについて】

消去したい項目に合わせて3つのモードから選択出来ます。
ファイルを消去する際は、必ずご希望にあったモードをお選びください。

消去モード 1. ONE：1曲だけ消去したい時に選択します。2曲目以降を消去したい場合は⑩-⑩次ボタンを押して順次選択してください。

消去モード 2. DIR：カードもしくはメモリ内のフォルダのデータを消去します。

消去モード 3. ALL：カードもしくはメモリ内のすべてのデータを消去します。



- ※ MP3ファイルの曲名は表示されません。
- ※ PCで保存したMP3ファイルは消去出来ない場合があります。
- ※ 消去した MP3ファイルは元に戻せませんのでご注意ください。

■カセットテープへ録音する

本機の【レコード】【CD】【カセットテープ】【ラジオ】【SD/USB】【音声入力】各機能の音声をカセットテープに録音する事が出来ます。

- ⑫カセットデッキA操作部の⑫-⑤停止/取出ボタンを押し、⑪カセットデッキAのドアを開けます。
- 録音用のカセットテープを挿入します。
- カセットテープに録音したい音楽を再生します。
※再生の仕方は各機能の項目を参照して下さい。
- ⑫-①録音ボタンを押します。
⑫-①録音ボタンと⑫-②再生ボタンが同時に下がります。
- ⑫-⑤停止/取出しボタンを押すと、録音を終了します。

■カセットテープを高速ダビングする

⑬カセットデッキBの音声を⑪カセットデッキAへ高速でダビングする事が出来ます。
一度にたくさんの録音をしたい時や、時間のない時に便利です。

- ⑩-②ダビングボタンを押します。
※②液晶表示部に“[DJ]”と点滅表示されます。
- 上記の「■カセットテープに録音する」の手順に従って録音します。



※⑪カセットデッキAは録音/再生、⑬カセットデッキBは再生専用です。
大切な音源を誤って消去してしまわない為に、録音の際、テープの入れ間違いに充分ご注意ください。

※本機はノーマルテープ専用です。
ハイポジション、メタルポジション等のテープは使用できませんので、予めご確認ください。また、両面合わせて60分以内のテープを推奨しています。
※録音前に必ずテープの残量をお確かめ下さい。

●故障かな?と思ったら

発売元にご相談になる前に、もう一度下記内容をご確認ください。
ご不明な点がある時は、保証書にある発売元へお問い合わせください。

共通

症状	対処方法
電源が入らない	・ AC アダプタを家庭用コンセントに入れてください。
音が聞こえない	・ 音量を大きくして確認してください。
音がひずむ	・ 音量を小さくしてください。

ラジオ部

症状	対処方法
雑音が入る	・ 周波数を正しく合わせてください。 ・ FM アンテナの向きを調節してください。 ・ AM ループアンテナの位置を調節してください。

カセットテープ部

症状	対処方法
テープが入らない	・ テープの露出面を背面側に入れてください。
テープが再生しない	・ テープの弛み ^{ゆる} を直してから使用してください。 ・ 劣化したテープは絡みやすくテープにダメージを与えますので、使用しないでください。 ・ 60 分以上のテープは使用しないでください。

SD カード /USB メモリ

症状	対処方法
認識できない	・ SD カード /USB メモリをパソコンでフォーマットしてください。

リモコン

症状	対処方法
操作できない	・ リモコンの電池が消耗していたら、新しい電池と交換してください。 ・ リモコンを本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

●主な仕様

製品共通	電源	入力：DC12V 3A 出力：AC100V 50/60Hz
	消費電力	15W
	最大外形寸法(約)	幅:325 × 奥:280 × 高:333mm
	本体質量(約)	4.7kg
	ACアダプタコード長(約)	1500mm
	製品材質	MDF合板、ABS樹脂
スピーカー	実用最大出力	3W + 3W
AM/FMラジオ	受信可能周波数	AM：522 ~ 1620kHz
		FM：76 ~ 108MHz
レコードプレーヤー	回転数	33 3/1、45、78
	レコード針材質	サファイア
カセットテープ	対応テープ形式	Type1(ノーマル) ※両面60分以内推奨
CD	再生対応ディスク	オーディオCD、CD-R/RW
	再生対応ファイルフォーマット	CD-DA、MP3：64 ~ 320kbps
	録音対応ディスク	CD-R/RW
	録音対応ファイルフォーマット	CD-DA
SD/SDHC	対応メディア	SD、SDHC
	ディスク容量	128MB ~ 16GB ※2GB推奨
	再生対応ファイルフォーマット	MP3：64 ~ 320kbps
	録音対応ファイルフォーマット	MP3：128kbps
USB	対応メディア	USBメモリ(USB2.0、3.0)
	ディスク容量	128MB ~ 16GB ※2GB推奨
	再生対応ファイルフォーマット	MP3：64 ~ 320kbps
	録音対応ファイルフォーマット	MP3：128kbps

※CD-R、CD-RW、SD、SDHCカードおよびUSBメモリに記録されたディスクの再生は、ディスクの品質、記録状態、録音環境により再生できない場合があります。 ※本機のUSB端子は「USB3.1」には対応しておりません。
※SD/USBが認識されない場合、パソコンでSD/USBを「FAT32」のファイルシステムでフォーマットを行ってください。 ※コピーガード付きのディスクは、再生できない場合があります。
※本機で再生できないディスク コピーコントロールCD：本機では音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証はいたしません。
※製品の仕様は性能向上等の理由から予告無く変更する場合がございます。